

'00

第九

のべおか第九だより(号外)
2000年5月28日(日)

発行 のべおか「第九」を歌う会
事務局(延岡総合文化センター内)
882-0852 延岡市東浜砂町611番地2
電話(0982)22-1855



@末廣先生の指導(5月20日)

その付近の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
その部分の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
...お話

(ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。)

【~】みなさん、あの...“der”がかなり直ったんでしょうけれど、頑固な方がいらっしゃるようです(笑)。とってもいいこと?ですけどね。もっと柔軟に“デェル”を。それからですね、時々歌の中に出てくるsfですね、みなさんsfがあると頭でよくわかってらっしゃるんでしょうけれど、sfがわかるように歌おうとはされてないようです。聞いているほうに伝わらないと意味がないので、“Brü-der”とかドッペルフーガの一番最後のところにいっばい出てきますね“Welt!”とか。これアクセントですね。これらをもっと出そうと思ってください。言葉のスピードで出します。声を強く出そうとするのではなくて、発音することでアクセントを出そうとしてください。それと語尾の“t”がほとんどなくなっちゃうので、これは後でやりますね。



238 【Freu-de!】“フロイデ”の“エ”の音をあまり(口を横に)開かずに出来ますか。一番最初にお願ひしましたが、どうぞ怒らないようにしてください。怒って歌わないでください。言葉と顔が裏腹ですよ(笑)。笑えとは申しませんが、輝いた声が欲しいので。今のような笑顔でちょっと明るくください。

257 【Dei-ne Zau-ber~】どうぞみなさん、うなずかないで歌ってください(笑)。

257 【Dei-ne Zau-ber】もっと“ダ...”って言えますか。

260 【streng ge-teilt; al-~】バスの方が歌われたように“アーレンシェーン”って長く(レガート)歌おうと思ってください。“メンシェン”って“n”をすぐ入れずになめらかに。“teilt;”(最後の子音)それに命かける方が3人ぐらいいてほしい。

260 【streng ge-teilt; al-】“al-”の食いつきを、もっとはっきりください。今のは膨らんでしまっています。もっと前に前に出るように。

284 【Ja,】構えていてくださいね、バスの人。私、必ず合図出しますので。信用してください。“Ja,...”と。力まないで出るといい声出るんです。体に力入れずに、まっすぐ。



313 【Küs-se gap sie ~】 みなさん、息吸いすぎ。みなさん揃って吸いやすいところで吸ってしまうから、全部音が2小節ごとに切れています。全部聞こえないんです。それを聞いているとイラついてきます。ここは意図的にプレスを考えていないとできませんよ。“Re-ben,” (314)の後では絶対吸わないと思っていてください。この際ですね“ei-nen” (314)の後ろで息を吸ってもかまいません。私、つながってくださったらいいんです。どこで吸っていてもいいです。みなさんが自然に吸うところでは吸わないでくださいというだけです。なるだけ4小節、“Tod;” (316)までつなげてください。



316 【prüft im Tod;】 “Wol-” は、“al-le” と一緒に、前にフライングしたいんです。もっと先へ表現したいから前に出てくるのです。“Wol-” は最初にアクセントがあります。“ボ～オルス...” と膨らまない。

318 【Wurm ge-ge-ben,】 アルトとバスのみなさん、“ge-ge-ben,” のGの音ですか、ほとんどソプラノはあてにならないので、“ge-ge-ben,” の発音はココ（アルトとバス）で出します。“ゲゲー” とははっきりと固く発音してください。



319 【und der Che-rub ~】 “und der Che-rub...” と隙間をみんな入れてください。.....おしまいが聞きたいんです。切れる瞬間が。全部子音を発音できますか。

319 【und der Che-rub】 “der”（デール）ディールじゃない。“Che-rub”、みなさん（sfあり）。



320 【steht vor Gott,】 “Gott”、“ゴ...” って（子音を強調して）もらえますか。不思議なもので私が一人で“ゴ...” って言うと、“G”に聞こえるんですよ。みなさん一人で歌うとGに聞こえるんです。みんなが揃うとGに聞こえないんです。全員が同じタイミングでGを固く発音しない限り絶対に聞こえてこないんです。だからみなさん、自分だけひとりでサボらないで。全員がはっきり“ゴ...” って言おうと思ってくださいとGに聞こえないんです。

323 【steht vor ~】 “steht”の最後の“t”をもうちょっと欲しいんですけどね。

330 【Gott.】 もっと高く！

330 【Gott.】 プレスしていいんですからね、みなさん。私、面白がってずっと伸ばしていますからね（笑）。



411 【Lau-fet, ~】 どんなに歌っても（ソロの声は）消えませんがね。どうぞどんどん歌ってください。

417 【Held zum_】 “Held”の“d”（ツ）が欲しいですね。

418 【Sie-gen,】 “ゲーン”（伸ばす）。

543 【Freu-de,】 最初の第一声が大事です。明るく、明るく。響いた声で。

550 【um,】 途中で休符が入って、ひとくさり終わりますね。“Ely-



si-um,”と沈まないで、言い切ってください。輝かしく。沈んで
いけないようにしましょう。

595 【Seid um-】 “d” は “um-” を言う3拍目の直前に入れてくだ
さい。“ザーイトォム”と一語にしてください。早めに“イ”に
行ってしまわないように。

601 【gan-zen】 “gan” の “n” は、次の拍にはいる瞬間に入れて欲
しいんです。“z”につなげてください。

602 【Welt!】 この小節でオーケストラが“パーララ...”って3拍目
に入りますね。そこあたりでショボショボ...って音が弱くなる気
配があるんですけどね。1小節間、ビチッと最後まで。オーケス
トラが出るピタッと1拍目まで伸ばしてください。

603 【Seid um-】 都はるみがいらっしゃるんです。“ザ~あ...”
(笑)。頭から“ザー”。

607 【Die--sen~】 みなさん、“Die-sen Kus der gan-zen
Welt!”と頭の中でくくって欲しいんですが。“Die-sen Kus
der...”じゃなくて。“der”と歌っているときに“gan-zen
Welt!”に行こうと頭の中で思ってください。くれぐれも後ろ
へ、後ろへ。

608 【Kuß der】 ちょっと難しいことを言いますね。3拍目にソプラノ
が入ります。次に“gan-”と行く長さ、これみなさん前に繰って早いですよ、今。ソプラノが
“der”と出たすぐ(ほかのパートが)“ga-”って出ちゃうんですよ。もっと引きつけて欲しい
んですが。テヌートを気にしてください。

611 【Brü-der!】 パツと降った瞬間にここに入りたいんですよ。(前の
小節を“Welt!,”って)切った瞬間に空いてしまわないように。
僕の手のとおりに出ると、聴いているお客さんには隙間なくポツ
と行っているように聞こえるんですが、信じて出てくださいね。

619 【Brü-der!】 音形のとおり、表情を。

620 【ü--berm】 “イーベルム”、“...ム”。

622 【zelt muß_】 フライングして1拍はやく出ますね、バスが。そして
“ein”と動き出す前に“ß”を発音しなきゃいけませんでしょ。
“ß”をプレスせずに“ein”にくっつけて欲しいんですが。“ム
ースアイン”と歌って欲しいんです。プレスをとらないように。
死んでください(笑)。

622 【zelt muß_】 (バス以外)ほかのみなさんもすべてそうです。
くっつけてください。

631 【Ihr_stürzt】 随分あやしいハーモニーですね。女性は小さく。バ
スが一番大きく。
.....もう一回。膨らみっぱなしにならないように。

635 【Ah-nest~】 我慢して、みなさん。ppにはいって、ffになる



(638)まで4小節かけて行くんです。徐々に徐々に。そこ、みなさん“Ah-”で安心なさるのか、“ワッ”と音量が増えるんですが。

638 【Welt?~】 前も話したかもしれないけど、ベートーベンの楽譜に書いてある一番多い手法...pがあつて強くなりますね。次にmfというのはほとんどないんですよ。mfってベートーベンはほとんど書かないんです。(普通は)fがあつてffがあつて、その間にpiu fというのがあるんです。いきなりcresc.してffになるというのはすごく初期か、とっても意図的かしかないんですよ。ここはfを乗り越してffまで行くわけですが、それはイレギュラーなんです。滅多にこういうことはないんです。だから“Welt!”のffはとっても強烈はffだと思ってください。尋常じゃなく強くなっていくということです。ただ膨らまないで意図的に。

.....今度はcresc.しなくなっちゃいましたよ。



639 【Such' ihn】 シーツ。ppというの、さっきの反対で滅多に書かないんです。pがあつて必ずppなんです、ffからいきなりppというの滅多にないんですよ。ffからいきなりppですから、かなりのダイナミックさで。みなさん、うんとビビって出てください。丁寧に。

.....だんだん良くなったので、目立ってくるんですが、“Such'”って言うときに前に出ないでくださいね。“Welt?”(638)って切れたときにオーケストラが“ワーン”ってなってますが、そこに“ズズズ...”とならないように(笑)。



640 【ü-berm】 ソプラノのみなさん、ポルタメントしないでください。“イー...”とならずに“イー”と階段を上がるように。

640 【ü-berm~】 ここの音程...

640 【ü-berm】 ...早い。どこの合唱団もそうなんですが、ここに入るところが早い。私いじわるしますから、先に行かないようにね。...そうそう、それぐらいの調子で歌ってください。いつも、いつも。これもまた2回やると元に戻るんだろうな(笑)。いつも3拍目の長さを気を付けて。...タイミングとっても大事だと思うので、もう1回やりますね。



642 【zelt!】 今度は出てきましたでしょ。fなんです。その次にffがある(643)でしょ。コレが常道なんです。fとなったときに弱く歌おうとなさなくて結構です。fはfですからね。強くほしいんですが、あまり出過ぎないで次ぎにとっておいてください。もう1つ、“zelt!”という単語はまっ平ら、羊羹みたいに歌ってください。

646 【woh-nen,】 切った瞬間に音がない時間がありますね。これを楽しんでほしいんです。みなさんが最大になったときに音が切れます。それが会場に響いているのを楽しんでほしいです。微塵も弱くならないように。

654 【woh--nen.】 今ね、滅茶苦茶低かったんですよ。

655 【Seid_ um--~】 2つずつ、みんな切れます。“Seid un ... Mi-li- ...”と。それをプレスせずに。全部、全部歌ってください。

658 【o-nen!~】 アルトの人、だんだん音域が下にきますね。下に行くと、みなさんの顔も沈んでくる



んですよ(笑)。2/3ぐらいの方が顔がコウなってくるんです。下にいくほど、はっきりと強く明るく歌おうとしてください。もう1つ、言葉をもう一押しマルカートで。“シュルンゲン” “ゲ” って言って結構ですからね。全部子音をください。



664 【Freu-de! ~】 “de!” という発音をもっとクリアにいただけますか。

.....みなさん “Freu-de!” って言ってもらえますか。“フロイ...” って聞こえるんですよ。“デ”まで聞こえないんですよ。もっと速く発音できますか“Fr”。ちょっと“-de!”に行くのが速いんですかね、みなさん。“フローイデ”。

670 【Hei-lig-tum! Seid_】 バスが半拍フライングしてはいるところがありますが、これがほとんど前に出てきていないんですよ。これをなんとかリズムを正確にとれるように練習をしていただくとありがたいんですが。



672 【Freu-de! ~】 最初の“Fr”をうんときつく。...いや力んじやだめ。“フローイデ”

680 【Freu-de! ~】 音程、いいですか?“フローイデ”。



692 【Seid_ ~】 みなさん、スグ忘れませぬ。“Seid un ... Mi-li-...” と、こうなっているんですよ。どうかみなさん、わかってください。わかってください、ほかの場所に移ったらまた止めて言わなければいけない。プレスをするところを気を付けて。お願いですから。

694 【Freu-de! ~】 どうぞ、バスというふうに聞こえたいんですが。もっと出ますか、もっと。



795 【Dei-ne Zauber, ~】 ここから“was die Mo-de...” (801) がfになるようなcresc.を狙っていきたいんですが。そこがfとわかるようなcresc.をしてください。

803 【_ge-teilt.】 “teilt”の長さ。“タイトル”。“ターイルト”って歌ってらっしゃいますよ。4分音符で。



809 【Men-schen,al-le】 “al-le” (809) “Men-schen” (810) 同じテンポで。ここでプレスをしないようにとお願いしたはずです。

824 【_ge-teilt.】 “タイトル”。どうもみなさん、良くないね。ちゃんと頭に自覚されてないように思います。(803と同じ注意をされた)

858 【gan-zen Welt!】 “Welt!” “ヴェルト”。“ヴェールト”じゃなくて。

887 【Welt! Die-】 みなさん、なんとかしましょう。“Welt!” というところにffがありますよね。(891・893も。)このffはアクセントで。...で、困ったことにそこでプレスをとらなきゃいけないんですよ。プレスをとる前の音だから、なかなか強く歌えないんで



すよ。だからそういうふうに思って歌っていただかないといけない。強く歌ってプレスをとろうとすると非常に大変な作業をしなければならないんですよ。楽に歌っているとほとんど何も出てこないです。今なんにも、ffもなにもない。そこをなんとかff。アクセントをなんとかしてほしいんです。

897 【--】 バスだけタイがあるんですよ。これを練習しておいてほしいんです。“ラパパパパパアン”と歌うように。ちょっとナウいでしょ、非常にノリのいいリズムです。

899 【--Welt, der gan-】 アルトのみなさん、“デェール”。どなたかしつこく“ディール”と言ってらっしゃる方がいる（笑）。

903 【Welt!】 ここに2分音符ありますね。ちゃんとベートーベンを考えて書いてあるんですよ。長いか短いか。ですから、歌って気持ちよくなったりして、そういうもので長くなったりしないで、非常に厳格にください。

906 【Göt-ter-】 “-ter-” はね、ほとんど届いて（聞こえて）ないんです。切らなければダメなんです。“ゲーッ テル...” 。ちょっと歯切れよく歌って。

915 【Toch-】 この前に2小節半、休みがありますね。ここで出るときに3/4の方は準備が遅い。“トー” ってちゃんと聞こえてこない。もうちょっと早く準備ができますか。

916 【-ter aus E-】 “アウス” って“ウ” がいるんです、みなさん。“アース” って聞こえます。.....リズムどおり言葉でいただけますか。...首をコウせずに出せますか（笑）。離してください。“アウス エリイ...” 。

918 【Freu-de, schö--ner】 “フロオーイデ”、みなさん。“フロオーイデ” って伸びずに。

【お話】 なんとなくみなさん、慣れきってらっしゃるので、ほとんど注意力ゼロに聞こえてしまうんですが。みなさんが覚えているとおりに歌ってらっしゃるんです。ねえ。それをなんとか払拭するために僕、たくさんしゃべっているんですが、もう1回楽譜を見て...ね、新しくしましょう。でも、この前よりは随分声が出ていたような...と、なんちゃってほめたりして（笑）...どうもありがとうございました。



編集後記

今年はメドフォード用と年末用の楽譜2冊を鞆に入れての練習をしています。末廣先生の指導はメドフォード専用の楽譜に写しているところです。今までの指導が書き込んであるのに上書きしてしまうと、どれがどれやら...わからなくなりそうですから。【munenori@horita.gr.jp】